

# 庄原市教育フォーラム

教育指導課指導係 ☎0824-73-1184



本年度は「芸術・文化」をテーマに10月19日、庄原市民会館で開催し、児童生徒、教職員、保護者を中心に市内外から約500人が参加しました。

音楽や芸術は、私たちの生活の中に溶け込んでおり、やりがいや潤いの源となっています。そして、私たちの生活に彩りを与え、豊かな心を育む、大きな力をもっています。

今回も、中学生が司会を務めながら、小学生の合唱発表や中学生による伝統文化・部活動の取り組みの発表を行いました。

フォーラムの最後には、広島ジュニアマリンバアンサンブルが元氣いっぱいのパフォーマンスを披露し、会場は大きな感動に包まれました。

## 本年度の教育フォーラム

**教育フォーラムとは**

市教育委員会は「庄原で学んで良かったと心から思える教育」を目指し、将来にわたって子どもたちが「ふるさと庄原」で培った「知・徳・体」を原動力として、激しく変動する社会を生き抜き、活躍できるよう取り組みを進めています。

その取り組みの一つとして、平成26年度から学校、家庭、地域などが一緒にあって、本市の教育、次代を担う子どもたちの育成について考える「教育フォーラム」を開催しています。

# 「全国花のまちづくりコンクール」で優秀賞を受賞

商工観光課観光振興係 ☎0824-73-1179

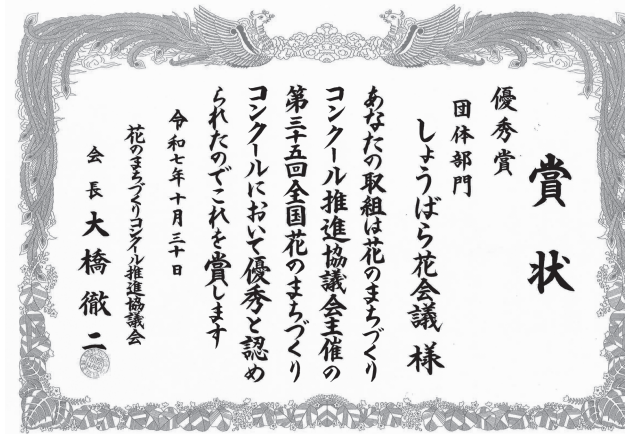


## 快挙！「全国花のまちづくりコンクール」で優秀賞を獲得

市内で花と緑のまちづくりを進めている団体「しょうばら花会議」が、初参加で「全国花のまちづくりコンクール」の優秀賞を獲得しました。

受賞した「団体部門」では、全国から604件の応募があり、その中で、大賞に次ぐ2番目の賞に選出されるという快挙を成し遂げました。

今回の受賞では、オープンガーデンに参加している各庭の質の高さに加え、地域を巻き込んだ多様な活動と、「庄原を美しく、住んで訪れて楽しいまちにしたい」という熱意が高く評価されました。



## 全国花のまちづくりコンクール

全国で取り組まれている花のまちづくりの優秀な活動を顕彰し、花のまちづくりがより一層普及定着することを目指し、毎年実施されているコンクールです。

平成2年に開催された「国際花と緑の博覧会」（大阪花博）のテーマである「自然と人間との共生」を継承し、その翌年から始まりました。



▲オープンガーデンの現地審査

## しょうばら花会議

しょうばら花会議は平成22年に発足し、春と秋に多くの人が本市を訪れる「庄原」とやまオープンガーデン」の取り組みのほか、国営備北丘陵公園や、花による活動を行っているさまざまな人たちと共に、花のまちづくりを進めています。

このたびの受賞を受け、しょうばら花会議の皆さんは「これをきっかけに、改めて花と緑のまちづくりを楽しむ仲間を増やしていきたい」と満面の笑みで話しました。

## 板橋小の児童による合唱

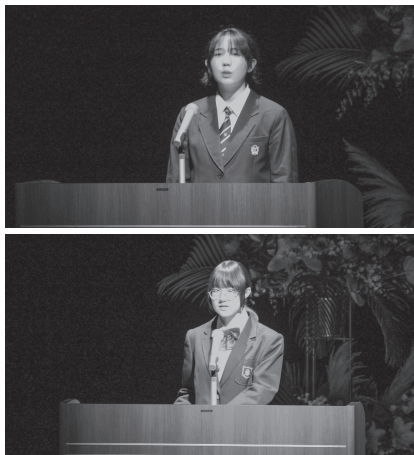
板橋小の5・6年生は、心を一つにした合唱を発表しました。

「花は咲く」「大切なもの」「ひろい世界へ」の3曲を披露し、優しく美しいハーモニーを会場で響かせました。



## 東城中・庄原中の生徒による意見発表

東城中3年の藤本千早さんは、ロボット製作についての活動紹介や学んだこと、これからの目標などについて発表し、庄原中3年の教益幸奈さんは、美術部の部長として挑戦してきたことや、挑戦から得られたものなどを、自分の言葉で堂々と発表しました。



## 比和中の生徒による比和牛供養田植

比和中は、全校生徒10人による「比和牛供養田植」を披露しました。

地域に伝わる伝統文化を引き継いでいく、力強い意志をステージで表現しました。



## 広島ジュニアマリンバアンサンブルによる演奏

広島ジュニアマリンバアンサンブルは、国際親善や世界中の平和を願って国内外で広く活動しています。

当日はアンコールを含めて16曲を演奏し、躍動感あふれるパフォーマンスに、会場は大きな盛り上がりを見せました。



参加者からは、「子どもたちのチャレンジする姿が見られてとても良かった」「発表だけでなく、生徒が司会や運営も行い、子ども主体のフォーラムとなっていて素晴らしいかった」などの感想が寄せられました。



▲コンクールに応募したオープンガーデン



▲主体的な取り組みや民主的な運営を行う花会議メンバー